

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	6	1
会計	款	項
一般	2	1

事業名	地域コミュニティ応援事業費
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために
施 策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会を中心とした地域コミュニティ	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地域住民が誇りを持って自らの地域課題等に取り組み、持続的な地域づくりができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を中心とした地域コミュニティ自らが取り組む地域づくりへの支援。 ・自治会を中心とした地域コミュニティと協働するための行政への意識づくり。 ・地域づくり交付金の交付及び相談支援。 ・上記にかかる研修プログラム、視察研修の実施。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
全体事業費 (千円)		11,931	11,668	13,259
財源 内訳	うち一般財源	11,931	11,668	13,259

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閥与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	住民と職員が地域づくりの意味と必要性を共有するための方法の検討と令和7年度からの地域コミュニティにとって有効な交付金を検討する。	③取組の課題	「地域づくり勉強会」の質的向上を図りながら、それに参加していない自治会の対応を個別に検討していく必要がある。
②R6年度に実施した取り組み	自治会と共に「地域づくり勉強会」を継続的に実施し、地域づくりの理解が深まった。また、中長期計画を見据えた中期からの交付金要綱を改正した。	④今後の改善計画	自治会における中長期計画を見据えた計画づくりの個別支援を行っていく。また、自治会、職員双方の「地域づくり勉強会」の質的向上を目指す。